

市民ネットワーク・の다가通信

No.119

2016年11月

野田市議会議員

小室みえこ

野田市山崎2694 C-302

編集発行:市民ネットワーク・の다가 住所:野田市野田312 代表 鈴木真理子 Tel:7123-6981 Fax:7123-6982
http://www10.ocn.ne.jp/~nodanet/ Eメール shiminnetnoda@chorus.ocn.ne.jp

子どもの健康を考える

本当に必要? そのワクチン B型肝炎ワクチンの定期接種

B型肝炎とは?

B型肝炎ウイルスを含んだ血液、体液等が直接体に入ることによって感染する肝臓の病気です。1985年当時0.26%の感染率だった垂直感染(母子感染)が、母子予防事業対策で9年後には0.024%にまで減少しました。それ以外の感染ルートは、輸血、集団予防接種での医療行為によるものでしたが、その感染は解消し、現在は性行為、覚せい剤などの使いまわし、入れ墨やピアスの穴をあける際に消毒をしない等が感染原因と言われます。

定期接種による経費は?

国は今年4月に性感染症が増加していることを理由にB型肝炎ワクチンの定期接種を決定し生後2か月から1歳までの乳児を対象に3回の接種としています。

今回計上された補正予算は年度途中のため1200万円ですが、来年以降は定期接種の為、毎年約1800万円が予算化されることになります。(全

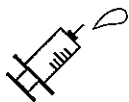
国では年間百万人の新生児に一人3回接種する予算額は毎年200億円と想定されます)

アレルギーの問題

天然ゴム(ラテックス)のアレルギーのあるお子さんや酵母アレルギーのある人は打てません。

食物アレルギーの有症率は乳幼児で10%、幼児で5%、学童期で1.3%、4.5%と厚生省も認識しており乳児のアレルギー率は高くなっています。問題は、生後2か月の乳児のアレルギーの有無を誰が判断できるのでしょうか?

誰のための
ワクチン
接種?



ようやく!! 甲状腺エコー検査に助成が決定

新市長の公約にあった甲状腺エコー検査の実施内容について質問しました。対象・原発事故当時の胎児から18歳まで/助成額...4500円(自己負担は3060円)/エコー検査を受けることができる病院...小張病院/予算計上額...73万円です。

原発事故から5年半が経ちました。ようやく子どもの健康を心配する保護者の声に耳を傾けた助成が実現しましたが、本来は原発を推進してきた国が実施すべきで、その負担を保護者に負わせることは責任回避です。

野田市として、経費は原発事故子ども安心交付金を申請し国に求めてください。これまで自主検査を受けてきた方が同じ医師に診てもらえること、また多子世帯の軽減対策を要望しました。

小室みえこのコメント

子どもの健康という視点で予防接種と甲状腺エコー検査を対比させました。定期接種は多額の予算を使い毎年実施されます。接種しても抗体ができたか? 持続期間も不明です。ワクチン添付文書には、「3回目接種後に抗体検査を行い抗体が獲得できていない場合は追加接種を考慮すること」と書いてありますが、抗体確認はおこなわれません。保護者の皆さんが判断するための情報と定期接種は義務ではないことを伝える必要があります。

